

アルノー・フランソワ氏 / エラスムス・ムンドゥス講演会

教育と哲学の新たな実験としての エラスムス・ムンドゥス 《ユーロフィロソフィ》

開催日時・場所

2010年4月12日(月) 18:30-20:30

東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学 ボアソナードタワー26階 A 会議室
(<http://www.hosei.ac.jp/hosei/campus/annai/>)

通訳がつきます。 *どなたにもご参加いただけます。

テーマ :

「教育と哲学の新たな実験としてのエラスムス・ムンドゥス《ユーロフィロソフィ》」

講師 :

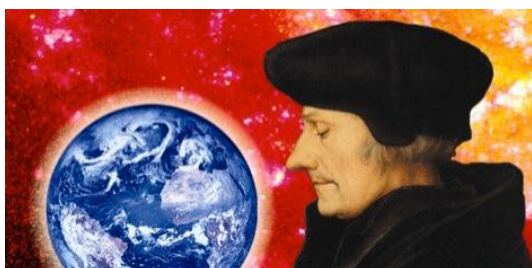
アルノー・フランソワ氏
フランス・トゥールーズ第2大学講師
・法政プログラム EU 側実施責任者

場所 :

法政大学(市ヶ谷)
ボアソナードタワー26階 A 会議室

お申込み/お問合せ :

講演会出席のお申込みおよびお問い合わせは、
下記、メールアドレスまでお願いいたします。
安孫子信(法政大学文学部):
メール: abiko@hosei.ac.jp



概要 :

法政大学は、ヨーロッパ連合(EU)のエラスムス・ムンドゥス修士課程《ユーロフィロソフィ》の正規プログラムを、昨年に続き、本年2010年にも開講しています。

EUから派遣された教員に日本人教員スタッフが加わり、《ユーロフィロソフィ》から選抜されたヨーロッパの学生たちと、自由聴講の日本人学生と市民に、4週間にわたってヨーロッパ哲学の集中講義を行っています。

<http://hitec.i.hosei.ac.jp/~ERASMUS/>

このプログラムの一環として、この企画のEU側責任者であるアルノー・フランソワ氏(フランス・トゥールーズ第2大学)による、〈エラスムス・ムンドゥスの意図と意味〉に触れた、上記の講演会が行われます。

EU発の、国境を超えたこの新たな教育の試みについて、当事者から直接に情報を得ていただくよい機会になると思います。教育の国際化に関心をお持ちの皆様多数のご参加をお待ちしています。

共催：法政大学/EU エラスムス・ムンドゥス《ユーロフィロソフィ》

：法政大学大学院人文科学研究科哲学専攻・IT研究センター・大学院事務部・国際交流センター